

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	ア二ーの家 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 1日		～ 令和8年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	89	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	令和8年 1月30日		～ 令和8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 4月 1日		～ 令和8年 2月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	89	(回答数) 71
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者向けアンケート(7)で、全ての方が「訪問支援計画に具体的な内容が設定されていますか。」に「あてはまる」と回答くださっていました。細かく丁寧に訪問支援計画を作成していることを認めてくださっていました。	児童発達支援や、放課後等デイサービス事業で担当している職員と現状を共有し、ねらいや課題、今後の支援の在り方について保護者の方と面談して計画をできるだけ丁寧に立てています。	今後も日々の療育の取り組みから見えてくるお子さんの課題分析をしつつ、保護者の方緒困り感も聞き取りながら計画を立てていきます。
2	保護者向けアンケート(14)の「保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に情報共有がなされていると思いますか。」でも、全ての方が「あてはまる」と回答されました。また、施設(学校・園)向けアンケートの「保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。」でも、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答されています。情報共有をして解決に結びつけていると思われる。	集団学習の場での利用児の困り感を具体的に伝えたり、小集団活動での姿をお伝えしたりしています。訪問先の先生方の状況にも出来る限り配慮して取り組んでいます。	保護者の方、訪問先の先生の置かれている状況をそれぞれのお立場を尊重して、利用児に合わせた支援方法につながるような内容を共有していきたいと思っています。
3	保護者向けアンケート(11)「子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。」(16)「子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。」(17)「事業所の支援に満足していますか。」でも、「あてはまる」と回答された方が多く、利用児と保護者の方が訪問を楽しみにして下さっている様子があります。	訪問時に利用児の様子を観察し、園や学校での姿の良い面をお伝えするようにしています。	保護者の方も、先生方も、職員も、利用児が育っていく環境をつくるチームとして捉え、よりよい育ちのための訪問支援になるよう連携を図っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けアンケート(6)「訪問先施設(園・学校)との連携が図れていると思いますか。」では、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」との回答47名に対し「どちらかといえばあてはまらない」と回答された方が1名いました。現状以上の連携の希望がありました。	学校・園では、通常の業務に加え訪問での参観や面談を受け入れて下さっています。そのため、ご多忙の間を縫って連絡をしていただいていることや、個人情報保護の立場から続けて何度も訪問することの難しさがあることなどをご承知いただきたいです。必要に応じて、保護者のご希望による連携は続けていきます。	訪問以外にも学校・園で行われる連絡会議には全て参加しています。今後も参加していきます。
2	保護者向けアンケート(8)「支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。」に対して、「どちらかといえばあてはまらない」と回答された方が2名いて、説明不足と感じられている様子がありました。	児童発達支援事業や放課後等デイサービス事業の通所と併用利用されている方が多く、限度額内に入っていたので、十分説明ができていなかったと思います。	保育所等訪問支援のサービス希望時に、負担額についてもお伝えしていきます。児童発達支援や放課後等デイサービス事業を卒業されてから、保育所等訪問支援のサービス単独で希望される方も増えているので、丁寧な説明を行っていきます。
3	訪問施設向けアンケートでは、(5)「保育所等訪問支援に満足していますか。」で高い評価を頂いている反面、「その他、お付き合いの点がございましたらご記入ください。」の箇所でも「面談の時間が少なかった」または「面談が長かった」など面談時間についてのご意見を多くいただきました。	お忙しい中の面談では時間で切り上げてしまうことがあります。また、訪問先の体制や考え方により、「担任の先生と直接お話をしないでください。」とおっしゃられるようなこともありました。利用児の状況について十分共有できないことがありました。	利用児にとって必要な課題の共有ができるため、面談の時間は重視していきたいと思っています。特に担任の先生とは直接お話しさせていただくことができると幸いです。面談の時間の持ち方について、訪問の後でして頂いた時間に電話でお話をさせていただくことなど、柔軟に対応させていただけるよう提案していきます。